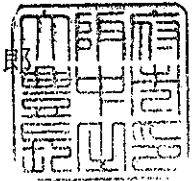




豊土建 第29号
平成19年(2007年)5月8日

国土交通省道路局長 様

豊中市長 浅利 敬一 郎



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付 国道企第114号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

担当 豊中市土木下水道部道路建設課
白壁、山本

TEL 06 (6858) 2886

FAX 06 (6854) 0492

中期的な計画の作成に当たっての意見

大阪府豊中市

- 都市圏の中心都市、都市圏の衛星都市、地方都市等で、道路に求められる役割が異なる。計画策定に当たっては、全国一律ではなく、これらを明確に区分し、それぞれに必要な施策を明記してほしい。
- 豊中市の場合、大阪市の衛星都市であり、道路ネットワークは、大阪市を中心としたものとなっている。幹線道路はある程度整備されており、新たな幹線道路整備は、通過交通を呼び込むことから、市民の賛同を得にくい。
- しかし、地域の中心となる、バス道となっている補助幹線道路などは歩道がない、狭い、段差・でこぼこがあるなどの問題があり、市民からの整備要望も強い。
- 豊中市の優先度の高い政策は、①交通バリアフリー化の推進、②地域を支える都市計画道路の整備、③安全安心な歩道の整備である。
- 豊中市としては、これら地区内道路整備に対する国の支援を求める。現在、国の高規格道路に関連する道路整備に対する補助は手厚いが、地区内道路に対する補助制度は少ない。
- 地方分権の考え方に則り、道路についても、国道や府道の歩行空間について、市町村が整備できるようになってきているが、権限だけでなく、財源も合わせて移譲してほしい。
- 豊中市の道路は、名神高速道路の開通、千里ニュータウンの開発等に合わせ、昭和30、40年代に一気に整備された。現在、これらの耐用限度が近づいており、相当な維持管理費が必要と予想され、これらに対する国の支援もお願いしたい。
- 地区内道路の整備にあたっては、住民の意見を聴くことが重要である。自分たちのまちの道路については、自分たちで決めることができる仕組みづくりも必要である。
- 豊中市の場合、市内全域が市街化されており、用地買収を必要とする道路整備は進めにくい。このため、既存道路の有効な使い方の工夫・方策を検討する必要がある。しかし、最終的に、警察協議で断念せざるを得ないケースが多く、交通規制に関する警察の柔軟な対応または、市町村の権限拡大を検討してほしい。
- 事業実施前及び完成後の評価が求められており、その手法についての要綱が定められているが、大規模道路を想定しており、市町村道の参考となる資料も充実させてほしい。